

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成27年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(C)（一般） 4. 補助事業期間 平成27年度～平成29年度
5. 課題番号

1	5	K	0	3	8	2	0
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 ガバナンスのリスク社会論・監査社会論的研究 資本主義と民主主義の現代の変容

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
0 0 2 0 9 4 2 0	マサムラ トシユキ 正村 俊之	社会情報学部	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
6 0 2 6 1 5 5 9	カトウ マサヨシ 加藤 眞義	福島大学・行政政策学類	教授
9 0 3 0 2 0 6 7	コマツ タケアキ 小松 丈晃	東北大学・文学研究科	准教授

9. 研究実績の概要

本研究は、「ガバメントからガバナンスへの移行」と呼ばれている現代社会の統治構造の変化に着目し、コーポレート・ガバナンスがガバナンス構築のモデル的役割を果たしているのではないかという仮説のもとに、1980年代以降、情報化とグローバル化、そして新自由主義の影響のもとで構築されたさまざまなガバナンスの構造を理論的かつ実証的に解明することを目的としている。27年度は、コーポレート・ガバナンスの特質を解明し、他のガバナンスとの構造的比較を行うことを予定していた。

一年間の研究をとおして、コーポレート・ガバナンスが株主と経営者の間に「本人（株主）/代理人（経営者）」、問責（監査）と答責（アカウンタビリティ）」、権力手段としての貨幣という、三つのメカニズムを働かせるようなガバナンスであることを示すとともに、1980年代に行政領域進化した「新公共管理」の導入が行政機関と民間組織の間に、コーポレート・ガバナンスに類似したガバナンス構造が形成されたことを明らかにした。さらに、1990年代以降、企業領域でも、企業環境の多様化や不祥事の続発を受けてガバナンス改革が進んだだけでなく、行政領域でも「新公共管理」の弊害を克服するために「新公共ガバナンス（ネットワーク・ガバナンス）」へ移行する動きが見られたが、これらの変化の間にも一定の共通点、すなわちコーポレート・ガバナンスに内在した、自律性と他律性という二つの要素の強化、社会的な諸価値の実現、リスク移転を行うための共通の情報処理様式の確立が見られたことを明らかにした。

その研究成果は、2015年度の社会情報学会大会総会シンポジウム等で報告するとともに、大妻女子大学の『人間生活文化研究』No.26に論文「現代的ガバナンスの形成と社会情報学的課題」等に掲載された。

10. キーワード

- | | | | |
|------------------|--------------|-----------|---------------|
| (1) コーポレート・ガバナンス | (2) 新公共ガバナンス | (3) 新公共管理 | (4) リスク管理 |
| (5) 情報 | (6) 貨幣 | (7) 監査 | (8) アカウンタビリティ |

11. 現在までの進捗状況

(区分) (1) 当初の計画以上に進展している。

(理由)

昨年度は、平成27年度の計画を完遂しただけでなく、平成28年度に予定していた研究（ガバナンス構造の変化に関する社会学および社会情報学的研究）にも着手することができた。企業領域と公共領域で進行している共通の変化を踏まえて、現代的ガバナンスの成立条件を5つの情報問題（収集・蓄積、評価、共有、設計）として整理し、そこからガバナンスに関する三つの社会情報学的課題（情報の伝達・保存に果たす情報技術の役割、情報の変換・評価を可能にする知の可能性と限界）、現代社会の自己組織化を支える設計思想と権力様式）を導き出した。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

研究は予定より進んでいるので、今年度予定していた計画を実行するとともに、平成29年度に予定していた研究にも着手したいと考えている。本研究は、経済領域と行政領域におけるガバナンスの研究を主題にしているが、最終的には資本主義と民主主義の現代的変容を解明することを目標にしている。その最終的な目標に向けて、今年度は、行政領域のガバナンス改革と民主主義の関係、新自由主義的改革とガバナンス改革の関係にも注意を払いながら研究を進めていく。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

予算はほとんど予定通り消化したが、約6万円ほど次年度使用額が生じた。研究者によって理由は異なるが、出張の回数、図書の購入数が計画より少なかったためである。

(使用計画)

次年度使用額は、出張旅費の補填、図書の購入にあてる。

(課題番号： 15K03820)

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

(2 / 7)

13. 研究発表(平成27年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(6)件/うち査読付論文 計(3)件/うち国際共著 計(0)件/うちオープンアクセス 計(2)件

著者名		論文標題				
正村俊之		新公共管理後のガバナンスと情報問題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
社会情報学	有	4巻2号	2 0 1 6	39-53	-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

著者名		論文標題				
正村俊之		現代的ガバナンスの形成と社会情報学的課題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
人間生活文化研究	有	26	2 0 1 6	173-189	-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

著者名		論文標題【掲載確定】				
正村俊之		リスク・機能分化・個人化 ベック理論トラーマン理論との対話				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
社会学研究	有	89巻	2 0 1 6	未定	-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

(課題番号: 15K03820)

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

(3/7)

著者名		論文標題				
加藤眞義		震災ダメージの偏在と不可視性という問題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
社会学年報	無	44号	2015	43-45	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
加藤眞義		災後の社会学				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
震災科研プロジェクト	無	4	2016	1-95	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

著者名		論文標題				
小松丈晃		信頼とリスクのマネジメント				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
現代社会学理論研究	無	第10号	2016	3-15	-	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難						

(学会発表) 計(5)件/うち招待講演 計(0)件/うち国際学会 計(0)件

発表者名	発表標題	
正村俊之	新公共管理後のガバナンスと情報問題	
学会等名	発表年月日	発表場所
社会情報学会	2015年06月07日	中央大学駿河台記念館

発表者名	発表標題	
正村俊之	リスク・機能分化・個人化 ベック理論トラーマン理論との対話	
学会等名	発表年月日	発表場所
東北社会学研究会大会	2015年11月07日	東北大学

発表者名	発表標題	
小松丈晃	ベックのリスク社会論と知/無知の社会学	
学会等名	発表年月日	発表場所
東北社会学研究会大会	2015年11月07日	東北大学

発表者名	発表標題	
小松丈晃	信頼とリスクのマネジメント	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本社会学理論学会大会	2015年09月05日	立教大学

発表者名	発表標題	
小松丈晃	無知のコミュニケーション 無知の社会学的考察のために	
学会等名	発表年月日	発表場所
2015年度科学技術社会論学会大会	2015年11月22日	東北大学

(図書) 計(1)件

著者名	出版社		
小松丈晃	ミネルヴァ書房		
書名		発行年	総ページ数
西垣通・伊藤守編著『よくわかる社会情報学』		2 0 1 5	223(190-191)

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

(国際研究集会) 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

(課題番号： 15K03820)

(注) ・印刷に当たっては、A 4 判 (縦長) ・両面印刷すること。

(6 / 7)

16.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1)国際共同研究: -

17.備考

--